



■発行元■

南国市大桶甲 1479-3
医療法人つくし会 南国病院
TEL 088-864-3137
<http://www.nankoku-hp.or.jp>





淡路ファームパーク
イングランドの三つ
1班 平成22年5月26~27日



南国病院職員旅行の感想

私が代表で病院旅行の感想を書かせていただくことになりました。

私は、2班で参加させてもらいました。バスに長時間揺られました。退屈ではありませんでした。前日までの疲れで、途中寝たりはしましたが、職員のみなさんと昼食を外で取ること自体が新鮮ですし、全てが非日常的で、それだけで病院旅行は楽しいものと思っています。

今回は、職員のみなさんの吉永さんを亡くして、いっしょに行けなかった悔しさを感じながらの旅になった方も多いいと思います。私も、吉永さんにはいろいろとお世話になって、仕事上で迷惑をおかけしてしまったことを反省するなど、感慨に耽りながらの旅でもありました。奇しくも、阪神淡路大震災の被災地を復元したところも見学することができ、私たちが日頃から上手に無視してきた、限りある自分の命について、改めて直面することになりました。吉永さんの死と震災の被害について見つめ直してみると、陳腐な言い方ですが、改めて一日一日を悔いのないよう生きなければ、自分の人生がもたないと考えさせられました。

もう一つ、今回有意義な旅行と感じたのは、職員と院長との対話、特に師長さん方と院長の対話が充実していたことです。ざっくばらんに腹を割って、語り合えるということは、多少の意見の違いがあっても、チームワークが良い証拠だと思います。腹を割って話し合えない雰囲気職場では、これからの病院はうまく発展していかないように、私は思えてなりません。そういう視点から考えると、飲み会のような語り合える場を設けることが、いかに重要か再認識させられた旅行でもありました。

職員のみなさんの得意分野で、旅行を盛り上げてくださったことも大事なことです。踊りや歌や、漫才まで披露していただいて、帰りのバスでも、3病棟の小松さんの漫才に笑いが止まらず、疲れも吹っ飛び勢いでした。小松さんが自由に話ができるという雰囲気も私たちのチームワークだと思いますし、当院の良さだと思いました。

また、来年も良い旅行が計画されることを期待しています。みなさん、お疲れ様でした。

精神科 玉元 徹





野島断層保存
北淡震災記念公園
2班 平成22年6月23~24日

